

狭山ヶ丘分館 図書館だより

2020春号



ハンカチをつかった「手作りマスク」をしています。

新型コロナウイルス感染症対策に伴う 図書館イベント中止のお知らせ

所沢図書館では、新型コロナウイルス感染症の日本での拡大リスクが高まっていることから、防止対策として、当面の間、**図書館行事・イベント等を中止**とさせていただきます。ご迷惑をおかけして申し訳ございませんが、ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。また、下記以降の図書館行事・イベントにつきましても、今後の状況を見て、中止とさせていただきます場合がございます。恐れ入りますが、所沢図書館ホームページ等でご確認いただきますようお願いいたします。

★狭山ヶ丘分館 中止行事・イベント一覧★

- 親子おはなし会：第1・3金曜日
- かざぐるまのおはなし会：第1・3土曜日
- おはなし会（図書館職員とおはなしボランティア勉強会）：第2・4土曜日
- 春の子どもの読書週間イベント（「読書ビンゴ」「春の読書の木」）など

こんなことしました。

令和2年 新春（1～3月）

「かるた大会」

開催：1月8日（水） 参加者：子ども27名

すみれ児童館と狭山ヶ丘分館共催のかるた大会を、すみれ児童館で開催しました。かるたは「所沢郷土かるた」を使用しました。会場に集まった子ども達は、すみれ児童館職員によって学年に関係なくチーム分けされます。始まるまではにこやかにくつろいでいましたが、読み手の「読みます！」という声がかかると一転、誰もが真剣な眼差しで札に向き合います。一枚の札にいくつもの小さな手が重なり合っている様子を見ていると、こちらもドキドキしました。1～3位には賞状とメダル、参加してくれた子ども達全員に記録表をプレゼントしました。次年度もぜひ共催で行いたいと思っています。



「蔵書点検を行いました」



2月3日（月）から7日（金）まで、年に1回実施している「蔵書点検」を行いました。「蔵書点検」とは、図書館で所蔵している資料がデータどおりに正しい場所に並んでいるかどうかを確認する作業です。その作業をすることで、不明資料を把握することができます。現在、狭山ヶ丘分館には約8万冊の資料があります。その資料のバーコードを、職員が1冊ずつ専用の機械で読み取り、データを照合し、資料の所在状況の確認をしました。点検作業後は、資料の整理整頓、季節の飾り付けや特集展示の変更などをおこないました。休館中は皆さまにご迷惑をおかけしましたが、「蔵書点検」は図書館を快適にご利用いただくために欠かせない作業です。これからもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「利用者懇談会」

開催：2月13日（木） 参加者：大人4名

令和元年度所沢市立所沢図書館狭山ヶ丘分館 利用者懇談会を開催しました。4名の方にご参加いただきました。利用者の方からは、「子どもたちが勉強できるスペースを図書館は増やした方がいいと思う」「ホームページで本館や各分館の利用者懇談会日程の情報をもっと長い期間掲載した方が参加者も集まっているのでは？」など貴重なご意見をたくさんいただきました。今後の図書館運営にいかしてまいりたいと思います。



レファレンスサービス (調べもの)を行っています!

所沢市立図書館では、皆様の調べものや、資料・情報を探すお手伝いを行うサービスを積極的に行っています。「このタイトルの本は図書館にありますか?」「〇〇さんについて書かれている本はありますか?」「あの事件が起きたのは何年何月何日?」など皆様の疑問や質問に対し、図書館の資料やインターネットのデータベースなどを使って調査し回答します。今回は狭山ヶ丘分館で過去にお答えした事例を一部ご紹介いたします。

* 静岡県のお土産で買った「ミズ」という漬物の元の山菜を調べたい。

○山菜の名前はウワバミソウ (別名「ミズ」「ミズナ」「ヨシナ」「トログサ」など)です。以下の資料に記載があります。

- ・『山菜・木の実おいしい50選』 戸門秀雄/著 恒文社 2007年 657.86/ト
- ・『四季の摘み菜12ヵ月』 平谷けいこ/著 山と溪谷社 2000年 657.86/ヒ
- ・『摘み菜がごちそう』 平谷けいこ/著 山と溪谷社 2007年 657.86/ヒ
- ・『山菜の絵本』 ふじしまいさむ/へん 農山漁村文化協会 2010年 65

* 狭山ヶ丘駅近くの愛宕神社について書かれている本はあるか。

○以下の資料に記載があります。

- ・『さやまが丘昔話』 市川作治/著 広報センター 2000年 213.4/イ
- ・『三ヶ島郷土史サークル誌 第6号』 三ヶ島郷土史サークル/編 三ヶ島郷土史サークル 2008年 K222/ミ/6

* 唐招提寺や東大寺大仏殿の屋根の両端についている、飾りの名称が記載されている本を探している。

○唐招提寺や東大寺大仏殿の屋根の両端についている飾りは、鴟尾(しび)といいます。唐招提寺の鴟尾(しび)は井上靖の小説にちなみ「天平の甍」と親しまれています。以下の資料に記載があります。

- ・『和風建築の大研究』 PHP研究所/編 PHP研究所 2006年 52
- ・『るるぶ京都奈良古寺めぐり』 JTBパブリッシング 2016年 291.09/ル
- ・『事前学習に役立つみんなの修学旅行 奈良・大阪』 山田邦和/監修 小峰書店 2014年 29.1

☆内容により、回答に制限があるお問い合わせや受付できない質問もございます。ご了承ください。

【例】・学校の宿題・クイズ・懸賞問題についての質問

- ・医療・投薬・健康相談や法律・特許等に関する相談
- ・人権やプライバシーの侵害にあたるような質問 etc.



☆所沢市立所沢図書館 HP レファレンス事例集

これまでに所沢図書館で受けた質問の一部をご紹介します。

<https://www.tokorozawa-library.jp/contents/reference.html>

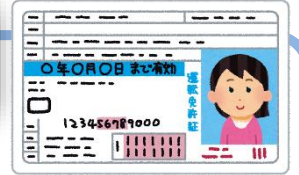
所沢市立図書館では皆様からの質問をお待ちしております。お気軽にご相談ください。





図書館スタッフの オススメ本

島へ免許を取りに行く



星野博美／著 集英社 請求記号：916/ホ

「島」「免許」という組み合わせにおや？と思われる方も多いのではないのでしょうか。人間関係や私生活で当時悩んでいた著者は、現状を打破するべく長崎県の五島列島に免許を取りに行くことを決心します。見知らぬ土地での様々な人との出会いや、馬にも乗れるようなユニークな環境、また運転教習に悪戦苦闘しながらも過ごした数週間の様子などが、著者の視点で丁寧にまた面白く描かれています。

免許取得を目標に掲げる経緯に至った冒頭からぐいぐいと、読み進めていくことができます。困難にも挑戦する著者の姿に、こちら胸が熱くなっていきます。新しいことを始める際に年齢や時間など「できない理由」を探してしまいがちですが、このエッセイは何か挑戦することの大切さを気付かせてくれます。新生活のスタートに背中を押してくれるおすすめの一冊です！

おばちゃんたちのいるところ



松田青子／著 中央公論新社 請求記号：913.6/マ

「娘道成寺」「四谷怪談」「皿屋敷」一。みなさん一度は耳にしたことがあるかと思います。この短編集は、昔から読み継がれている怪談や落語が下敷きとなっています。幽霊も出てきます。しかし、恐ろしいと感じるところはまるでありません。3篇目に書かれている「ひなちゃん」は、落語の「骨つり」が下敷きとなっています。登場人物の「ひなちゃん」は袋物問屋の娘「ひな」の事です。昔なら「おひなさん」と呼ばれていたのかもしれませんが、現代では「ひなちゃん、かわいい名前ですね」となります。非業の死を遂げた「ひなちゃん」に同情した主人公が「おのれバカ侍」と憤るところは、思わず笑ってしまいました。

それぞれのお話に「おばちゃん」が出てきますが、それは怪談に出てくる女性だったり、本当に「おばちゃん」だったり。読み進めると、「おばちゃん」達から元気をもらえる気がします。

元となったお話を知らなくても、楽しく読むことが出来ますが、巻末に各作品のモチーフ一覧が載っていますので、ぜひそちらも合わせてお読みいただけたら、と思います。

特集展示コーナーが変わりました！

特集展示「ニュースを読む」があった場所が、新たに一般展示コーナーに変わりました。

4月の展示テーマは「ソロ活しましょ」です。

ひとりごはんやひとり旅の本、手芸本など、1人でも楽しめる本を集めました。

ぜひお手にとってみてください。